



豊島区立 いけぶくろようちえん

池袋幼稚園だより

2025
7月号

「見て 見て！」

園長 岩本 卯月

梅雨入りしたはずが、とても暑い日が続いています。子どもたちは水分補給をしながら、砂場での遊びや室内でのごっこ遊びを楽しんでいます。暑さ指数（WBGT）を確認し、子どもたちの体調をよく見て、安全に過ごせるよう努めて参ります。



「イケバスのご飯は電気なんだって」

先日、赤いかわいいイケバスに乗り、サンシャイン水族館へ遠足に行きました。あいにくの雨でしたが、上手に傘を差して出かけることができました。水族館では、子どもたちはそれぞれの興味に合わせて鑑賞を楽しみ、友達や先生に「あれ見て！」と、自分の発見したクラゲや魚の様子を共有しようと声を上げていました。その声を受けた先生方は、子どもたちと視線を合わせ、微笑みながら話を聞いていました。



「お魚いっぱい！」

17日には自然探検の講師にプロ・ナチュラリストの佐々木洋先生をお招きしました。暑い日でしたが風が気持ちよく、子どもたちは「虫むし探検隊」になり、佐々木隊長と一緒に大喜びで大明グラウンドに出かけていました。隊長は、子どもたちがバッタやダンゴムシ、カエルを捕まえると、「お、これはすごい」と声をかけてくださっていました。



隊長から虫を見せてもらいます

このやりとりがとても大切です。子どもたちは受け入れられた喜びと満足感を感じることで、自己肯定感を育みます。時には、自分から「見て！」と言葉で伝えるだけでなく、そっと顔を上げ、「気づいてほしい」と先生や友達を見つめることもあります。幼稚園ではその瞬間をしっかりと捕らえ、目を合わせ、にっこり笑って受け止めたいと思っています。

子どもたちがわくわくする行事の日はもちろんのこと、幼稚園で過ごす毎日の中で、このような小さな経験を積み重ね、子どもたちが大きく育つように援助を続けていきたいと思っています。

来週からは、子どもたちの楽しみにしているプール遊びが始まります。水に少しずつ慣れながら、全身で触れる気持ちよさを感じ、のびのびと楽しんでいきます。



「入ってるかな」



りす組は自作の双眼鏡を持って散策